

(対象期間：2019/8/26～2019/8/30)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移**  
 (2016年1月4日～2019年8月30日)

**【株式市場】**

前週末に米国と中国の通商対立が激化したことを受けて、週明けの株式市場は下落して始まりました。26日、ジョコ大統領は正式にジャカルタから東カリマンタンへの首都移転を発表しました。また、アラブ首長国連邦とインドネシアの企業間で大型投資の覚書が交わされるなど、投資増への期待なども高まり、国内勢の買いを中心に株式市場は上昇しました。セクター別では、基礎産業・石油化学、鉱業などが上昇した一方で、農業、消費財などは下落しました。

2019/8/23	2019/8/30	変化率
6,255.60	6,328.47	+1.16%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移**  
 (2016年1月1日～2019年8月30日)

**【債券市場】**

27日の国債入札を前にして、週初はポジション調整の売りに押され上値の重い展開となりました。入札結果はやや弱いものとなり、10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。短期債に売りが見られた一方で、長期債は底堅い展開となりました。しかし週末にかけて、米中の緊張緩和などを背景に通貨ルピアが堅調となったことから、利回りは低下しました。

2019/8/23	2019/8/30	変化幅
7.242	7.332	+0.090

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移**  
 (2016年1月1日～2019年8月30日)

**【為替市場】**

週の前半は米中の通商対立激化の懸念を背景に、リスク回避姿勢が強まり、ルピアは下落しました。しかし、26日にジョコ大統領が首都移転の正式発表を行い、今後の投資加速への期待などから株式市場が反転したことなどを好感し、堅調となりました。また、週末にかけては米中の緊張緩和を背景にさらに上昇し、週間ではルピアは対米ドル・対円ともに上昇しました。

2019/8/23	2019/8/30	変化率
0.7508	0.7509	+0.01%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

190902 (02)